



こもれび

校長室だより No. 4
令和5年11月16日発行

11月になり、今年は暖かい秋かと思えば、先日、木枯らしが吹いたかと思うと正門のケヤキの木も一気に色づきはじめ、今年は、秋の雰囲気あまり感じずに冬が到来してきた気がします。行事続きの忙しい10月は、天候にも恵まれすべての行事（運動会、修学旅行、オープンスクールなど）を無事に終えることができました。保護者の皆様にも大変お世話になりました。

～学びの秋～先生たちも勉強中！ 【注】11月17日（金）は休業日です。

全国的に教員不足が社会問題になっています。名古屋の小学校校長をしている私の友人は、以前は教師の質を問われていたが、最近では質より量を問われるようになってきたと言います。確かに、教師1万人を抱える政令指定都市においては、学校教育を支える人材確保が難しいのでしょうか。徳島県においても人材確保という観点では同じ問題がすでに起きています。体調不良で欠員が生じても代替りの教師の補充はなかなか決まらない現状があります。

それに加え、プログラミング教育、外国語教育、道徳の教科化、GIGAスクール構想による学校DX（トランスフォーメーション）など新しい教育改革により教育現場では、新たな取組みが加速度的に進められています。

それに伴い、私たち教師のスキルもアップデートすることが急務となっています。若手教師・ベテラン教師を問わず、新しい教育理論や指導法を修得し、授業改善に生かすことが求められています。

そこで、本校では昨年度より、校内研修の充実を図るため研究授業を該当学級児童のみを残し、教師が、はじめから最後まで授業見学できるようにしました。そうすることで、先生同士の学びがさらに深まり、教育の質的向上につながっています。今年はずでに、6月29日に5年1組学級、9月21日に6年1組学級、10月20日に3年2組学級が研究授業を行いました。

さらに、今年、2年に1度行われる徳島県の全小学校教員が集まる『統一大会』が明日11月17日（金）に行われます。今年の11月に、いつもより休みが多いのは各研究会場に全教師が出張するためです。本校は前回、書写の研究校として研究を重ね、その成果は今も「字を丁寧に書く学校」として継承されています。今年度は、5年1組学級の図工の取り組み（右の写真）を発表することになっています。そして、研究会で学んだことを日々の教育に還元できるよう実践して参ります。保護者の皆様におかれましては、研修の趣旨をご理解いただきご協力のほどよろしくお願いいたします。

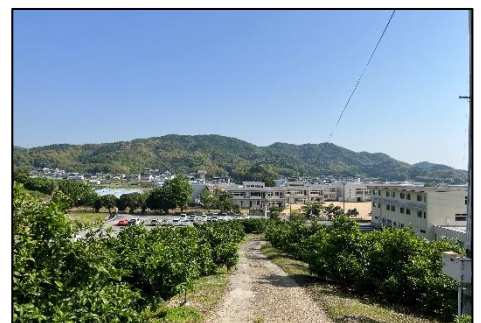


ふるさとへの愛着・郷土愛を育てる～しぶのっこ遠足～

10月27日に神奈川フィルハーモニー管弦楽団が本校を訪れコンサートを行いました。その中で、校歌を演奏してくれました。オーケストラバージョンに編曲された校歌は、前奏の曲が流れると同時に、渋野町の見渡す限りの大地と自然の光景が頭の中に広がり、改めて渋野町の素晴らしさを感じました。

渋野町は、徳島市内でありながら、田舎の風景が残る大変のどかな環境にあります。住んでいるとなかなか気づかないことでも、至る所に渋野がさらに好きになることやものがたくさんあります。

今年の「しぶのっこ遠足」は、町内をオリエンテーリングしながらふるさと渋野を再発見し、愛着を感じてもらえる内容を計画しています。ご家庭でも、秋の陽気の日にお子様と一緒に渋野を探訪してみたいかがでしょうか。



校舎を遠望（裏山のミカン畑より）